

待機児解消、認可保育園の増設 緊急に!

日本共産党が区に申し入れ

目黒区の保育園不足が深刻です。昨年4月は1000人を超える子どもが認可保育園に入れませんでしたが、今年4月に向けての認可保育園の整備が進まず、昨年同様の状況が予想されます。日本共産党区議団は昨年末、待機児解消に向けた緊急要望書を区長に提出しました。

このままでは
職場に
復帰できない



区に緊急的な認可保育園増設を求める党区議団

品川区では新たに300人規模の区立保育園や5つの私立保育園(合計671人)、世田谷区では新たに9つの認可保育園(829人)の増設など、どこも自治体も力を入れて取り組んでいる一方で、目黒区の保育園増設への熱意はきわめて不十分だと言わざるを得ません。日本共産党目黒区議団はこれまで、保護者のみなさんの保育園増設を求めたキッズパレードや区へ

「職場復帰できない」「保育園に入らぬために他区に引っ越さなければならぬ」など、年が明けても区民の方々の切羽詰まった声が聞こえてきます。

保護者の切実な取り組みと連携

目黒区は、2015年度に6つの認可保育園の建設計画を掲げていたにもかかわらず、4月に開園の見込みがたつていないのはわずか2園(130人)にすぎません。3つの小規模保育園の整備を加えても保育園建設の遅れは深刻で、区自身も今年4月の待機児は深刻な事態になるだろうと認める有様です。

の要請行動と連携し、区議会でも区・都・国有地などを活用した認可保育園の増設を訴えてきました。昨年末の区議団の申し入れに同行した保護者の方は、「区の保育園増設は、なんといいってもテンポが遅い。4月に入園できなかったら、6月までの育児休暇が終わると退職しなければなりません。なんといいても必要な手立てをとってください」と訴えています。

区民生活に活用せよ—区内の公有地の状況を調査

認可保育園、特別養護老人ホームの増設は喫緊の課題。そうであるにもかかわらず、区は「土地の確保ができない」と言い続けてきました。区議団は区民のみならずとも、切実な要求実現のため、施設用地として活用できそうな公有地調査を実施しました。京王井の頭線・駒場東大前駅の近くにある旧国家公務員住宅跡地や、目黒本町1丁目の東京法務局目黒出張所跡地、碑文谷6丁目の碑文谷公園内の公園事務所資材置き場、南1丁目の郵政宿舎跡など13か所をまわりました。「こんなところに土地がある」「国有地利用して」など期待の声が上がりました。

緊急要望

1. 公私立認可保育園の定員拡大を行うこと。
2. 定期利用保育や小規模保育園の整備など柔軟な対応を行うこと。
3. 民間施設で利用できる場所を探し活用すること。
4. 保育料補助の対象を、認証保育園以外のベビーシッターやベビーホテルなど利用者にも拡大すること。
5. 区立保育園の整備計画をつくること。



区民の方々と公有地を調査

日本共産党 目黒区議団ニュース
2016年1月号 日本共産党目黒区議団
〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15
TEL 03-3715-1111 (内線3030) FAX 03-5722-9344
メール jcpmkd@topaz.ocn.ne.jp ホームページ http://www.jcpmkd.jp/
ご意見をお寄せください

日本共産党区議 区議会定例会での一般質問概要



岩崎ふみひろ議員

岩崎ふみひろ議員は昨年第4回定例会(11月)で一般質問を行い、認可保育園の増設を求めるとともに(一面参照、災害時の高齢者・障がい者の人々など要配慮者対策の強化と、公共工事など区の仕事を請け負っている働く人たちの待遇を改善するための契約制度の発展を提案しました。

避難誘導体制を万全に

目黒区は現在、高齢者や障がい者、乳幼児など要配慮者向けの福祉避難所を20か所設置していますが、現状ではまだ充足していないことを指摘。国の

ガイドラインに基づき、早急に避難対象者に見合った福祉避難所の必要な整備を求めました。また、発災時の要配慮者の避難誘導体制を確立するために、区職員や包括支援センターの職員などを中心とした体制整備をすすめることを提案しました。

「国の政策としてすすめるべきもの」としながらも、23区でも制定が広がっていることを無視できず、「引き続き研究、調査を進めていく」と答弁。「建退共」の証紙貼付については、「適切に運用されるよう指導している」としましたが、区の点検体制については直接、答弁しませんでした。



星見てい子議員

星見てい子議員は昨年第3回定例会(9月)で一般質問を行い、高齢者の生活を支える施策や改善の提案をしました。

サービス改善と負担増への不安

消費税の増税と物価高、年金引き下げが続く中で、国の医療・介護の負担増がひどくなり、高齢者の生活不安が大きくなっています。70歳から74歳の窓口医療費が2割負担になった上に、介護では8月からサービス利用の2割負担の導入と、特

に健康増進の施策を推進する「目黒区高齢者のすこやか福祉基本条例」の制定です。介護保険の狭い枠にとどまらず、高齢者の生活を支える立場から総合的に施策を進めるものです。すでに、都内の日の出町は「お年寄りややさしい福祉条例」で、高齢者ががん患者の医療助成や元氣長生き奨励金、寝

しかし、青木区長は「条例制定が必要だとの認識はない」「高齢者への助成は、世代間の公平として問題」などと答弁しました。

すこやか基本条例制定と応援手当の創設を提案

区長は、介護分野で4月に区独自の総合事業が導入されるのを機に、利用料を下げる助成を検討すると答弁。恒常利用の再構築と通院の院内介助などの実施を約束しました。

高齢者のすこやか基本条例など

たきり手当などを実施しています。二つ目は、この「条例」の具体化で医療・介護の負担を軽減し利用を促進するために、要介護4・5や入院半年以上の高齢者などを対象に「医療・介護の高齢者応援手当」の創設を提案しました。

また、横浜市で進めている、大地震が起きた時の電気火災を防止するための地震ブレイカーを区でも普及させていくために、当面、要配慮者への助成

労働条件整備へ

公共工事を請け負う労働者や業務委託分野で働く人たちの待遇改善のため、区独自の最低賃金や労働条件を定める「公契約条例」の制定、および公共工事にかかる建設業退職金共済制度の証紙貼付の点検を区が行うことを求めました。

「国の政策としてすすめるべきもの」としながらも、23区でも制定が広がっていることを無視できず、「引き続き研究、調査を進めていく」と答弁。「建退共」の証紙貼付については、「適切に運用されるよう指導している」としましたが、区の点検体制については直接、答弁しませんでした。

区は公契約条例について、相変わらず

無料 法律・生活相談 困った時はいつでもどうぞ
●毎月第3木曜日午後2時～3時半 ●区役所5階日本共産党控室 ☎(3715)1111 (内)3030 ●各区議地域でも随時行っています。お問い合わせ下さい。

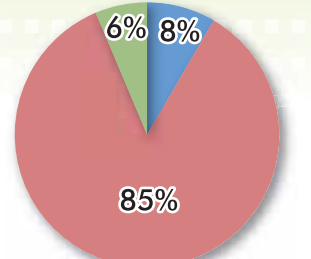
 森 美彦 区議会議員 東山1-12-11 090-1735-2792	 石川 恭子 区議会議員 祐天寺2-19-15 080-3408-0027	 岩崎ふみひろ 区議会議員 目黒本町6-4-1-405 080-3424-1200	 星見てい子 区議会議員 大岡山1-19-6 080-5680-4531	 松嶋祐一郎 区議会議員 八雲1-8-4 090-9880-4234
--	--	--	---	---

戦争法反対、くらし支援の要望が寄せられる

2015年夏に行った日本共産党目黒区議団のアンケートに493人の区民のみなさんから回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。戦争法反対や、消費税増税や物価の上昇で暮らしが苦しくなったという声、認可保育園や特養ホームの増設をすすめてほしいとのご意見が多かったのが特徴です。いただいた声を区政に生かし、区民のみなさんの要求を実現するために引き続き力をつくします。なお、自由意見を多数いただきましたが、紙面の都合上、割愛させていただきます。自由意見を含めた結果の詳細は、「日本共産党目黒区議団」のホームページ (<http://www.jcpmkd.jp/>) をご覧ください。

戦争法案について

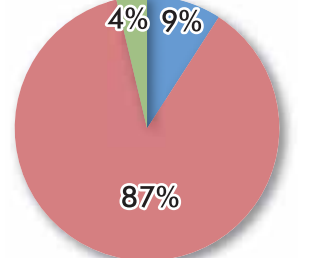
「反対」が85%、「賛成」は8%。衆議院で強行採決され、参議院に送られている時期でしたが、目黒区民の世論は明確に示されました。



■ 賛成 ■ 反対 ■ わからない

憲法九条について

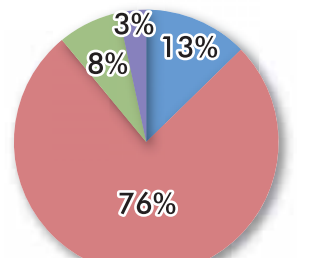
戦争放棄を明記している憲法九条については、「守るべき」が87%、「改正すべき」が9%と、さらにくっきりとした結果でした。



■ 改正すべきである ■ 守るべきである ■ わからない

区長の立場について

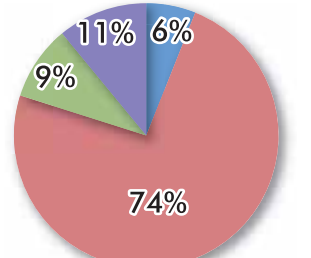
目黒区平和都市宣言は、「平和憲法を擁護し」と明記しています。目黒区長として戦争法案にどのような態度を示すべきかについて、「反対すべき」と答えた方が76%に上りました。



■ 賛成すべき ■ 反対すべき ■ わからない ■ その他

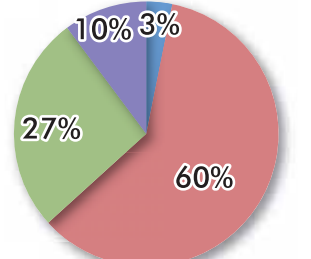
アベノミクスは…暮らし向きは…

アベノミクスの景気回復を「実感している」は6%。「金持ち、大企業のみ恩恵」「格差社会の国、若者の将来が心配です」などの声が多く寄せられました。



■ 実感している ■ 実感していない ■ どちらともいえない ■ その他

昨年と比べて暮らし向きが「苦しくなった」が60%、「貯金を取りかずして食費まで切り詰めて、もうこれ以上どこを節約したらいいのかわからない」などの切実な声が渦巻いています。



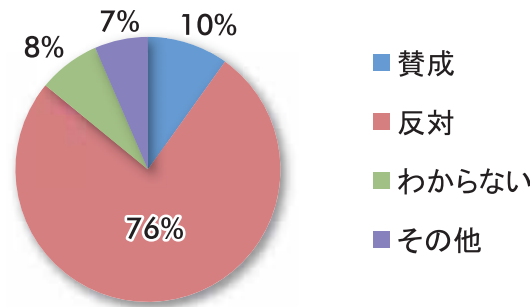
■ よくなった ■ 苦しくなった ■ 変わらない ■ その他

その主な理由は…

「税金、保険料が上がり収入が増えない」「生活必需品がすべて値上がり」「年金だけの収入が年々減らされている」「生活保護支給額引き下げ」などの多くの声が寄せられています。

消費税率が2017年度から10%に…

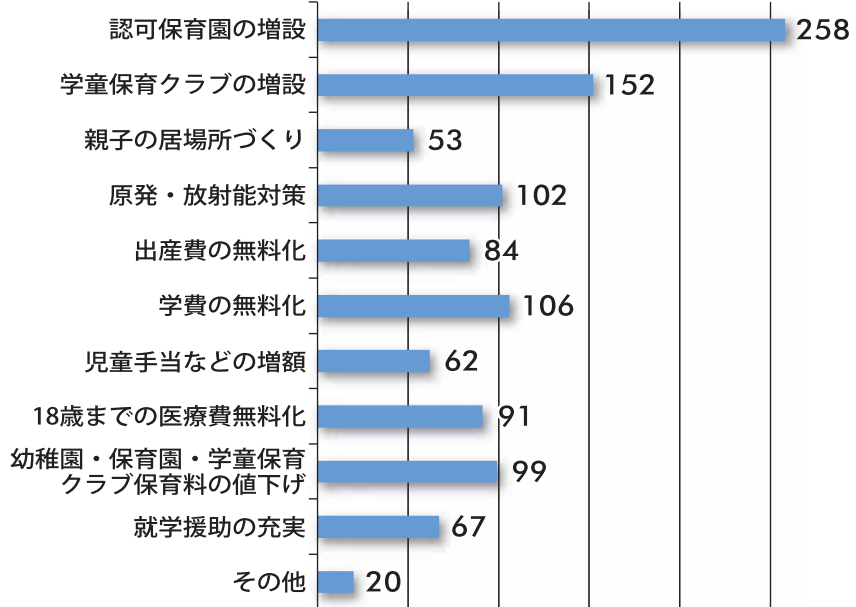
「反対」が76%、「賛成」は10%でした。「10%になったら何をけずって生活しなければならないか不安」「買い物に行けば何もかも高い、この先どうなっていくか、生きていけるのか」との怒りの声も寄せられました。



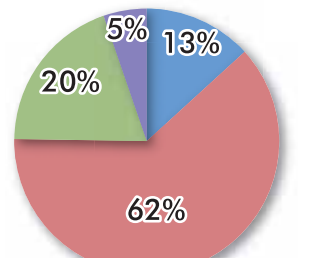
■ 賛成 ■ 反対 ■ わからない ■ その他

子育て支援について望むこと

認可保育園の待機児率59%は23区最悪。認可保育園の増設が1番でした。

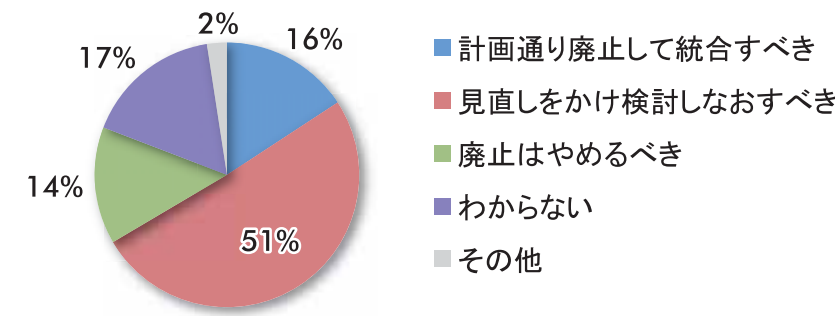


経費削減を最優先して区立保育園7園を廃止して民間に渡す計画について6割が「反対」しています。「保育の質を維持するには区営の保育園が必要」「子どもの健全な成長は自治体にも責任がある。効率性だけ追求することはかえってマイナス効果になるだけ」などの声が出されています。



■ 賛成 ■ 反対 ■ わからない ■ その他

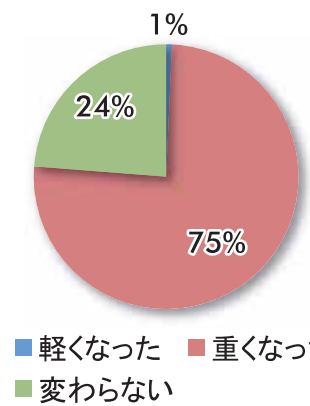
区立第3・第4中学校の廃止・統合に続いて、第7・第8・第9・第11中学校の廃止・統合を進める計画について、「計画通り廃止して統合すべき」は16%にとどまっています。「余裕ある教育が大切。子どもが増えているのに廃止、統合は何故?」「子どもの通学の負担が増し、大規模校は目が行き届かない。地域がこわれる(人とのつながり)」など、慎重な意見が多いのが特徴です。



■ 計画通り廃止して統合すべき ■ 見直しをかけ検討しなおすべき ■ 廃止はやめるべき ■ わからない ■ その他

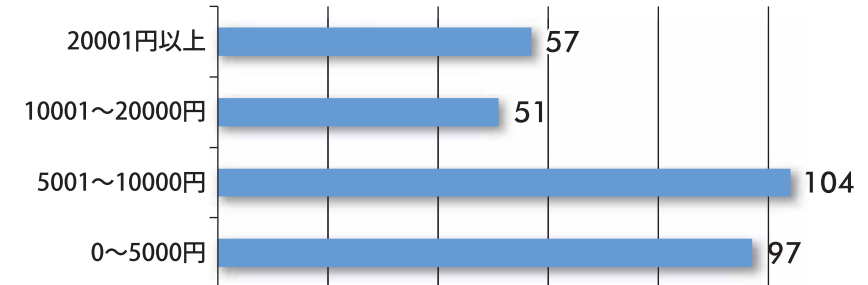
医療・介護保険料の負担は

「重くなった」が75%でした。「年金が減り介護保険料が高くなり医療にかかれなくながまんしてしまう」「健康保険、介護保険もう支払いきれない。年金だけではとても生きていけない」など切実な声が多く出されました。



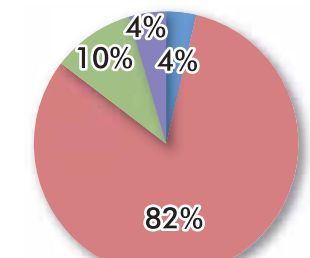
■ 軽くなった ■ 重くなった ■ 変わらない

医療・介護保険料の負担増の金額は…



特養ホーム増設について

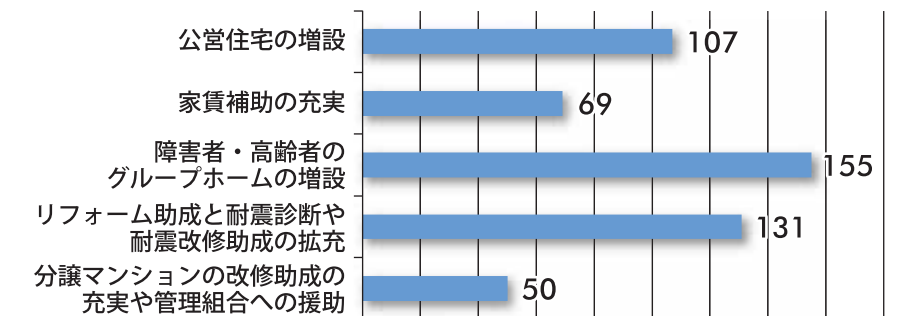
目黒区は15年間も特養ホームをつくらない中で、待機者が約1000人。2018年に2カ所の計画しかありません。どう思いますか。「緊急に増設すべき」が82%に上りました。「経済負担の少ない安心できるホームを至急作るべきです」「特養ホーム増設が重点課題でしょう」など強い声が多数でした。



■ このままでよい ■ 緊急に増設すべき ■ わからない ■ その他

住宅政策について望むこと

「障害者・高齢者のグループホームの増設」が一番でした。「都営住宅がなかなかあたりません」「収入が低い人でも安心して暮らせるようにすべき」などを含めた多様な意見が寄せられています。



労働問題について望むこと

「派遣労働雇用をやめ労働時間を短縮させ、個々の人権を大切にしてほしい。正社員化を望む」「同一労働同一賃金にすべき。労働者の4割近くが派遣では、この国の未来はない」などの意見が寄せられています。



営業について望むこと

「空き店舗もめだっています。昔から営業して地域の方々への気配り、目配りをしてくださっていた店も閉店に追い込まれています」など切実な声が渦巻いています。

